



瑞中だより

学校だより 第 2 号
平成28年 4月 28日
瑞穂町立瑞穂中学校
〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1

「いい学級」をつくろう！

校長 池谷 芳彦

狭山谷の木々の緑が美しい季節になりました。1学期がスタートして早くも1か月が過ぎましたが、各学年だよりなどで紹介された「抱負」の作文には、生徒の皆さんの始業式や入学式での新鮮な気持ちがそのまま表れていました。特に「三年生になって」の作文では、受験生としてしっかり勉強に取り組みたいという個人の目標だけでなく、学級として体育祭や合唱コンクールを頑張りたい、最高学年としての自覚をもちたいなどの内容が書かれており、とても頼もしいと思いました。

学校生活の中で「わかる喜び・できる実感・学ぶ楽しさ」を実践する基本的な環境は、それぞれの学級・クラスです。各クラスでは、学級目標がつけられたはずですが、その目標の目指すところを簡単に表せば「いい学級をつくりましょう」ということになると思います。その学級に所属する生徒全員が幸せになるために学級がある。学級に所属する生徒、すなわちクラスメイトみんなが日常会話の中で「いいクラスになってよかったね」と言ってくれる学級を目指したいものです。“スクールカースト”なる言葉がありますが、学級のような集団の中で本来平等であるはずのクラスメイトに、コミュニケーション能力の高さや個々のキャラクター等で格付けのようなものがなされているとすれば、それはゆゆしき問題であると思います。学級内での格付けのようなものは、いじめ問題にもつながっているのではないのでしょうか。

本校には、平成24年度から3年間、人権尊重教育推進校として取り組んできた実績があります。人権教育の目標は、一人一人の生徒が発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることです。この目標を達成するために、学校の教育活動の中で、学級の果たす役割はとても重要です。

クラスメイト全員が「いい学級だね」と言える学年は「いい学年」です。学年に関わる全ての生徒が「いい学年だね」と言える学校は「いい学校」に違いありません。そのようないい学級のあるいい学校は、きっと、生徒にとっては授業が楽しくよく分かり、保護者は学校に信頼を寄せ、地域にも認められている学校です。

☆ご家庭でも積極的に進めてください

◆「STOP22!!」22時以降は、スマホ等の使用をやめましょう。

☆お子様の肖像使用について

◆本校では、学校の広報活動の一環として授業・学校行事・部活動等の生徒の様子を写真に撮り印刷物やホームページに掲載する等の活用をさせていただきます。保護者の皆様には予めご承諾賜りたくお願い申し上げます。尚、ご承諾頂けない場合は、その旨担任にお申し出ください。

☆子どもの虐待について

◆しつけと称する暴力、子の人格を否定するようなことば、無視や過度な放任も虐待に含まれます。家庭・学校・地域が一体となって、心身共に健全な子どもを育成していきましょう。